

【来年度予算への要望書提出】

「放射線測定器を町で用意し、定期測定と公表を」

党議員団は、9月議会での論戦も含め、町民の命と暮らしに直結する問題を、来年度への要望にまとめ、町長に提出しました。7分野 71項目にわたります。



11/11 木村町長に町長室にて要望書を手渡す。右から木村町長、喜多村代表、村田桂子、海老根照子議員

*防災計画の見直しで、安心の寒川を



- 放射線測定器を自前で用意し、学校、保育園、幼稚園など子供の施設をきめ細かなポイントで測定調査し、公表すること。
- 給食食材の放射線の検査・公表を。
- 避難ビルなどを地域ごとに設定し、協定をおすぶこと。
- 広域避難所などに移動式太陽光発電機(蓄電機能あり)の配備を。公共施設に太陽光発電を。
- 最も身近な危険である、原発を2基搭載する原子力空母ジョージ・ワシントンの母港撤回を。

*「いこいの家」の建替えと利用再開を

- 保育園を増設して待機児をなくして。
- 雨の日も遊べる(仮)子ども活動センターを作って。
- 国保事業・・・低所得者に医療費の減免制度を早く作って。
- 介護保険の利用料・保険料の減免制度を
- 子どもの医療費無料制度の拡大を

*寒川小・小谷小学校のトイレの改修を急いで

- 教育費を増やして、寒川小学校・小谷小学校のトイレ改修を急いで行うこと。特に寒川小学校の外トイレの改修を急ぐこと。
- 就学援助制度の拡大とPRをさらに。
- 30人以下学級を3・4年生まで実施すること。中学1年生でも実施を。
- 高校の奨学金の増額と給付制に。

*生活道路の改善を



- 買い物不便地域の解消のためにも、コミバスのルート見直し・増便、土日・反対回りの復活を
- 倉見駅にエレベーター・エスカレーター設置を
- 農業を破壊し、食の安全を脅かすTPPIに反対し、食料自給率を上げること。
- 住宅リフォーム助成制度の改善で地域に活気と耐震補強をすすめること。

【9月議会トピックス】 議会を実現のため、奮闘しました。



その1 防災行政無線 「聞こえにく〜い なんとかして！」

の声に応じて6月議会で求め、9月議会で予算化実現。



電話するとその内容が聞ける音声応答装置が来年度1月から設置されます



2回線の予定、フリーダイヤル化を求めています。

その2 旭小学校の校庭敷地内(プールの北)に あさひ学童クラブが、新設されます

設計予算が盛りこまれました。



軽量鉄骨づくり。専用のプレイスペース、休養スペース、シャワー室あり。60名以上対応の広さです。来年秋口に完成予定。エアコン設置も要望しました。

その3 住宅地は12m

高さ規制の素案できる高層マンション建設にストップ!



住居地域の高さが12m、10mの規制となっています。準工業地域や工業地域では20m、31mの建築物が可能ですが、居住用は12mと制限されます。

さがみ縦貫道路開通前に、規制ができることで高層マンション建設に歯止めが掛けられます。

その4 コミバスのあり方検討会で再び検討始まる

コミバスの改善を求める大きな署名運動が町を動かし、福祉・高齢



介護・健康・産業振興など12の課にまたがる庁内研究会が8月に設置。今後、「コミュニティバスのあり方等検討委員会」が発足し、検討が始まります。

公募の住民枠も2人。ぜひご参加し、意見を反映して下さい。

夏の補欠選挙では、大変お世話になりました。引き続き、安心して暮らせる町をめざしてがんばります。ご要望・ご相談をお寄せください。



細川 京三
前町議会議員
(74)4330

「なくせ原発 原子力空母はいらない 12.10シンポジウム」

*平塚市民センター 13:30~
一緒に考えてみませんか?



日刊●月3,400円
日曜版●月800円

議会報告

11年 秋号 №521
発行/日本共産党寒川町議員団
寒川町役場(74)1111 (内)3
65
<http://www.jcp-samukawa.jp/>



村田 桂子
(74)2288



海老根 照子
(75)0682



喜多村 出
(74)9335

放射線量を測定します

「ここを測ってほしい」というご要望にお応えします。

ぜひ、ご要望をお寄せください。



空間放射線量だけでなく食品や土壌の放射線量を簡易的に測定できます。堀場製作所

*カンパもお待ちしています。

「子どもの遊ぶ公園はどうか」「雨どいの下、落ち葉のたまっているところが危ないというが・・・。」など、町民からのご心配の声がたくさん寄せられていることから、議員団は、寒川町でも自前の放射線測定器を備えるよう要求し、町も配備を検討中です。

厚木市内の子どもの尿からセシウムが検出されたとの話もあり、党議員団でも測定器購入を決め、まもなく手に入ります。12月からは測定が可能です。

子どもたちが遊ぶ公園の木の下、砂場などきめ細かく測定し、数値が高ければ、改めて町に測定を依頼し、除染など対応をお願いしたいと考えています。

11/18 寒川浄水場を状況視察

党議員団と細川京三氏、多くの住民は、柳島下水処理場に続いて、水道局（寒川浄水場）の汚泥状況を視察しました。

水道局で浄化した水には、放射線は検知されていないとのことですが、ろ過した汚泥には、高いときには、1,232ベクレル、今も100～200ベクレルとのことです。



（上）土壌中に含まれる線量を測定
（左）野積みされている汚泥汚泥約3千袋

国の処理方法が決まらず、およそ7,000トンが野積みそのまま置かれています。

処理のできない原子力発電は、一日も早くやめさせ、太陽光、風力、小水力など再生可能エネルギーに切り替えることが急務です。

（左）四国山中に立つ風力発電の風車

